

## 講習会・勉強会活動報告

テーマ：「歩行バイオメカニクスと装具療法」

講師：京都大学大学院 医学研究科  
人間健康科学系専攻 リハビリテーション科学コース  
大畑 光司 先生

日時：平成 22 年 10 月 2 日(土)13:00～17:00  
10 月 3 日(日) 9:00～15:00

内容：1. 理論講義  
2. 実技・デモンストレーション(表面筋電図を用いて)

参加人数：約 30 名 (PT)



1 日目の内容は歩行の運動学、片麻痺歩行の特徴と鹿児島で開催された日本リハビリテーション医学会での講演テーマ「歩行バイオメカニクスについて」を話されました。

「歩行の常識と考えられていたことが、これまでの研究によって常識ではないことがわかってきた」とご説明いただきました。またエビデンスがないままに漠然と治療されていることを危惧されていました。

2日目の内容はバイオメカニクスからみた評価と表面筋電図を用いて筋活動の誘導方法のデモンストレーションを行いました。まず、運動によって目的とする筋活動を起こしているのかをスタッフで確認しました。次に実際に患者様に来ていただき、片麻痺歩行において効果的に筋活動を起こす実技方法をご指導くださいました。



歩行バイオメカニクスの理論をはじめ、短下肢装具(ゲイトソリューションとシューホーンブレース)によって筋活動が異なること、トレーニング中の微妙な体の位置で筋活動が異なることを学習しました。最後に、大畑先生には 2 日間にわたりご講義いただきましてありがとうございました。

(文責 副センター長 西野 琢也)